

クロアチア情勢

主な出来事

2016年4月

内政

- 1日, NATO加盟7周年。7日, 議会は, 加盟7周年を記念した会合を開催。
- 2日, 社会民主党(SDP:野党第1党)党首選実施。暫定非公式結果において, ミラノビッチ現党首の再選(任期4年)が確定。また, 16日にSDP党内選挙が実施され, 副党首(4名)を含む17名の幹部および103名の常任委員会委員が選出された。
- 3日深夜~4日未明, クロアチア警察犯罪捜査本部に強盗が入り, 同本部が押収し, ドラチュキ組織犯罪課長室の金庫に保管されていた現金28万ユーロおよび金塊2kgが何者かに窃盗された。6日, 政府は, ドミニッチ警察長官, ブリシッチ・ザグレブ県警察本部長他2名の引責辞任を承諾。ドラチュキ組織犯罪課長は停職処分とされた。その後22日, 警察は, ドラチュキ組織犯罪課長を本件窃盗事件の容疑者として逮捕した。
- 5-8日, グラバル=キタロビッチ大統領は, ザダル(当国南部)に臨時大統領事務所を開設。今次臨時事務所には, 地域開発・EU基金省, 国防省, 司法省, 海事・運輸・インフラ省の代表も駐在。
- 13日, 政府は, 元大統領に対する特別な権利を規定する改正法案を議会に提出。右改正法は, 現在メシッチ元大統領に保障されている事務所, 私設ドライバー, 公用車の永続的保有の権利を撤廃し, 身体警護のみを国家予算で賄うことを規定するもの(現行法では, メシッチ元大統領以降の大統領経験者については, 最長5年間に限り同権利を有することとされている)。19日, 議会憲法・内務規定・政治制度委員会は, 右改正法案について賛成4, 棄権4とする意見を発表。28日, 議会審議においては, 議決投票のための議員定数に満たず, 同改正法案の審議は延期されることとなった。
- 14日, 議会人権・少数民族の権利委員会は, 昨年ブコバル市が改正した二重言語表記に関する同市2条例の合憲性について, 賛成多数(賛成6, 反対4, 棄権1)で憲法裁判所に審議を要請する旨決定。
- 14日, スプリット(当国南部)において, クロアチア連邦国(1944年5月樹立, 旧ユーゴ構成共和国であるクロアチア社会主義共和国の前身)政府結成(1945年4月14日, 於:スプリット)71周年記念式典開催。クルストウロビッチ=オパラ大統領特使(社会問題担当顧問)らが出席した。
- 15日, クロアチア・ユダヤ人コミュニティ調整委員会は, ヤセノバツ強制収容所跡において, 犠牲者追悼式典を開催。プポバツ議員(セルビア系代表), チャチッチ議員(リフォーミスト党首), ヨシポビッチ前大統領(クロアチア前進党党首)等が参列。

- 15日、シュクルレツ欧州議会議員(ORaH所属)が、ORaHからの離党表明を提出。今後は国内政党無所属のクロアチア代表欧州議会議員として活動を続ける。(24日、ホリー前ORaH党首が、自身も2か月前に同党を離党していたことを発表した。)
- 15日、スラボンスキ・ブロードに開設されていた冬用の難民収容センターが閉鎖。昨年11月3日に開設されてから、累計約34万7千人が同センターを利用した。
- 16日、人民党(HNS:野党第2党)党首選実施。ブルドリャク現副党首(前経済相)が当選(単一候補)。プシッチ前党首(前第一副首相兼外務・欧州問題相)が同党名誉党首に就任。
- 17日、クロアチア民主同盟(HDZ:与党第1党)党首選実施。暫定非公式結果において、単一候補であるカラマルコ現党首(第一副首相)が再選(任期4年)した旨発表。
- 18日、カラマルコ第一副首相、メドベド退役軍人相、シュスタル科学・教育・スポーツ相、シキッチ労働・年金システム相、ホルバット中小企業相他、各省次官又は次官補を含む8省の代表とグロゴシュキ退役軍人協会代表らによる非公式会合実施。
- 19-21日、ナキッチ保健相およびユレティッチ社会政策・青年相は、国連麻薬特別総会(UNGASS)出席のため、ニューヨークを訪問。
- 21日、オレシュコビッチ首相は、次期国連事務総長選挙に立候補しているプシッチ前第一副首相兼外務・欧州問題相(現議会副議長)と同選挙プロセスにつき意見交換。
- 22日、ヤセノバツ強制収容所跡において、ヤセノバツ強制収容所記念館が主催(議会後援)する政府公式の犠牲者追悼式典開催。オレシュコビッチ首相、カラマルコ第一副首相、ペトロフ副首相、ライネル議会議長、コバチ外務・欧州問題相、ハサンベゴビッチ文化相、シュスタル教育・科学・スポーツ相、シュプルリエ司法相等の政府要人およびカイタジ議員(ロマ系代表)が出席。
- 24日、「反ファシスト闘争者と反ファシスト連盟(SABA)」は、ヤセノバツ強制収容所跡において、犠牲者追悼式典を開催。メシッチ元大統領(SABA名誉会長)、ヨシポビッチ前大統領、ミラノビッチ前首相(SDP党首)、プポバツ議員(セルビア系代表)、カイタジ議員(ロマ系代表)等が出席。
- 26日、ザグレブのイスラム教センターにおいて、クロアチアにおけるイスラム教の平等性承認100周年記念会合開催。コバチ外務・欧州問題相、シュプルリエ司法相(宗教コミュニティ関係委員会議長)が出席。
- 26日、退役軍人省前で2014年10月20日から555日間に亘り座り込みの抗議を行っていた退役軍人らが、新政府下において自分達の要求が満たされたことを理由に抗議を終了。
- 26日、オシエク県裁判所は、ズドラブコ・マミッチ前ディナモ・ザグレブ(国内サッカークラブ)会長他3名に対し、ディナモからの約1億1600万クーナ(約19億7千万円)の横領および最低でも1220万クーナ(約2億円)に上る脱税容疑で起訴状を発行。
- 27日、議会において、クロアチアにおけるイスラム教制度化100周年(1916年4月27日、クロアチア議会において、イスラム教が他宗教と平等であると公認された)記念特別会合開催。
- 28日、政府は、閣議において「国家改革プログラム」および「2016-29年収斂計画」を承認。

外交

- 4日、コバチ外務・欧州問題相は、欧州議会他が開催した難民・移民に関する会議(「EUにおける庇護および移民」)に出席するためベルリンを訪問。
- 4日、オレシュコビッチ首相は、ドゥブロブニク(当国南部)で開催された「ブラウン・フォーラム」(当地米大およびクロアチア経済会議所(HGK)共催の経済会議)に出席。
- 5日、カラマルコ第一副首相およびペトロフ副首相は、それぞれ当国訪問中のイー国務副次官補(欧州・ユーラシア担当。前在クロアチア・米国大使館次席)と会談。クルク島LNGターミナル建設プロジェクトがクロアチア・米国経済関係における戦略的利益である旨確認。
- 7日、オレシュコビッチ首相は、コバチ外務・欧州問題相と共にバチカンを訪問し、フランシス法王と会談。
- 8日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、サチ新コソボ大統領就任式出席のため、プリシュティナを訪問。
- 8日、ミマラ博物館において、「国際ロマ・デー」記念式典開催。ライネル議会議長、カイツ議員(ロマ系代表)らが出席。
- 11日、グラバル＝キタロビッチ大統領、オレシュコビッチ首相およびライネル議会議長は、それぞれ当国訪問中のマルクヴァルダー・スイス国民議会議長と会談。
- 11日、グラバル＝キタロビッチ大統領およびカラマルコ第一副首相は、それぞれ当国訪問中のディーン米ホロコースト問題担当特使と会談。カラマルコ第一副首相は、クロアチアにおけるユダヤ人資産返還問題の解決を加速させたい旨言及。また13日、ライネル議会議長もディーン特使と会談し、ユダヤ人資産返還問題につき協議した。
- 11日、レデレル文化省次官は、当国訪問中の Dong Wei 中国文化省次官と会談。クロアチア・中国間の文化・芸術協力のためのプログラム(2016～2020年)を締結。
- 12日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、「モスタル国際経済見本市2016」の開会式出席のため、BHのモスタルを訪問。同地において、ブチッチ・セルビア首相と約10分間の会談を実施し、二国間関係につき意見交換した。
- 12-13日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、マケドニアを訪問し、同地において、パホル・スロベニア大統領およびイバノフ・マケドニア大統領と3者会談を実施。また、マケドニア・ギリシャ国境に設置されているビノユグ移民トランジット・センターを視察、同地に派遣されているクロアチア警察官らと意見交換した。
- 13日、プシッチ前第一副首相兼外務・欧州問題相(人民党(HNS)党首、議会副議長)は、ニューヨークの国連本部において、次期国連事務総長選挙候補者に対する総会非公式対話に登壇。
- 14日、ライネル議会議長は、当国訪問中のシン・インド外務担当閣外大臣と会談。
- 14日、ブリエビッチ国防相は、当国訪問中のコデリ・アルバニア国防相と会談。難民問題について、潜在的なギリシャ・アルバニア間国境通過ルートおよびアドリア海を渡るルートの利用を阻止するための両国軍の協力について協議した。また、コデリ国防相は、カラマルコ第一副首相およびライネル議会議長とも会談した。

- 14日、欧州委員会は、ブルネイよりクロアチア国民への査証取得義務を撤廃する連絡を受けた旨発表。これにより、EUと査証免除制度を締結している国のうち、クロアチア国民に査証取得を要求する国は米国のみとなった。
- 14日、サナデル元首相は、国連国際商取引法委員会(UNCITRAL)におけるクロアチア石油公社(INA)・MOL(ハンガリーの石油会社)問題調停裁判(クロアチア政府 vs.MOL)の証人として出廷(15-17日)するためロンドンに出発。
- 15-17日、グラバル=キタロビッチ大統領は、第11回「GLOBSEC ブラチスラバ世界安全保障フォーラム」出席のため、スロバキアを訪問。
- 15-16日、スプリット(当国南部)において、第14回「アドリア・イオニア・イニシアティブ」加盟国議会議長会合開催(クロアチアは2015-2016年の議長国)。ライネル議会議長およびコバチ外務・欧州問題相が出席。同会合に際し、難民問題に関する共同声明を採択。
- 17日、コバチ外務・欧州問題相およびプレンコビッチ欧州議会議員(HDZ所属)は、独ボンで開催されたゲンシャール元独外相(3月31日逝去)追悼式に参列。
- 18日、グラバル=キタロビッチ大統領は、潘基文国連事務総長宛書簡を発出し、先月言い渡されたシェシエリ・セルビア急進党党首に対する旧ユーゴスラビア国際刑事裁判所(ICTY)の無罪判決への懸念を伝達。
- 18日、コバチ外務・欧州問題相は、EU外務理事会出席のため、ルクセンブルクを訪問。翌19日、ブリエビッチ国防相が同理事会に合わせ開催された国防相会合に出席。
- 20-22日、グラバル=キタロビッチ大統領は、ニューヨークを訪問し、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた国連総会ハイレベル会合出席および国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で採択された「パリ協定」の署名式(22日)に出席。今次訪問に際し、大統領は、アデル・ハンガリー大統領、トルドー加首相等と会談を実施。
- 21日、在セルビア・クロアチア大使館は、セルビア外務省発クロアチア外務・欧州問題省宛の抗議書簡を受領。本件抗議は、16日付当地紙「ユータルニ・リスト」に掲載されたコバチ外務・欧州問題相のインタビューでの発言(「1990年代の紛争計画を生んだ国が、クロアチアを含む全旧ユーゴ諸国の戦争犯罪に対する判事や警官を務めることはできない。これは歴史的歪曲であり、常識を逸脱しており、善隣協力を阻害している。」という部分の発言)に対するもの。
- 21日、オレピッチ内相は、EU司法・内務理事会出席のため、ルクセンブルクを訪問。クロアチアは、本年6月8日-7月8日の間に、計50名(トルコから30名、ギリシャおよび伊から各10名)のシリア難民を受け入れる予定である旨表明。
- 23日、コバチ外務・欧州問題相は、BH中部のビテズ(Vitez)を訪問し、同地のビジネス・ゾーン設立20周年記念式典に出席。
- 25日、オレシュコビッチ首相は、ミュンヘンを訪問し、ゼーホーファー・バイエルン州首相と会談。
- 25日、ブリエビッチ国防相は、当国訪問中のネンチェフ・ブルガリア国防相と会談。翌26日、ネンチェフ大統領は、ブコバル(当国東部)にあるブルガリア軍墓地の改修された納骨堂の除幕式に出席。

- 26日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、当国訪問中のエルドアン・トルコ大統領と会談。両大統領は、27日に開催された「クロアチア・トルコ経済フォーラム」およびイスラム教の平等性承認100周年記念式典に出席した。また、オレシュコビッチ首相もエルドアン大統領と会談した(27日)。
- 26日、クロアチア労働組合連合(SSSH)およびスロベニア労働組合連合(ZSSS)は、「全ての人のための人権・労働者の権利」と題する難民に関する共同声明に署名。
- 27日、ザグレブにおいて、トルコ文化会館が開館。当国訪問中のエルドアン・トルコ大統領およびコバチ外務・欧州問題相、ハサンベゴビッチ文化相、ザグレブ市長らが開館式に出席。
- 27日、ドブロビッチ環境・自然保護相およびシャロビッチBH対外貿易経済関係相は、ザグレブにおいて、「環境保護および持続可能な開発における協力合意」に署名。
- 28－29日、コバチ外務・欧州問題相、シュプルリエ司法相およびツビタン検事総長は、当国訪問中のブラメーツ(Serge Brammertz)ICTY首席検察官と意見交換。
- 29日、コバチ外務・欧州問題相は、スロバキアを訪問し、ライチャーク同国外務・欧州問題相と会談。
- 29日、ブリエビッチ国防相は、ハンガリーを訪問し、シミチコー同国国防相と会談。
- 25－29日、ミュイースニエクス欧州評議会人権コミッショナーが当国訪問。ペトロフ副首相、シュプルリエ司法相、ハサンベゴビッチ文化相、ツビタン検事総長等と意見交換。

経済

- 5日、マリッチ財務相は、出席したクロアチア銀行協会およびクロアチア雇用協会主催会議「Credit and Growth」において、クロアチアに対する低い信用格付を改善させるべく公的債務問題等に取り組むと発言。
- 12日、IMFはクロアチアの経済成長率予測を公表。2016年は1.9%(前回客年10月時点予測では1.0%)、2017年は2.1%成長となる見込み。
- 15－17日、マリッチ財務相およびブイッチ中央銀行総裁率いるクロアチア代表団は、世界銀行・IMF春期総会出席のため、米ワシントンを訪問。
- 21日、クロアチア統計局は2015年の一般政府財政赤字および同年末時点の公的債務残高を公表。各々対GDP比3.2%、86.7%であった。
- 26日、マリッチ財務相およびブイッチ中央銀行総裁は、当国訪問中のミュラー世界銀行副総裁(欧州・中欧アジア地域担当)と会談。
- 27日、EUROSTATは2015年のEU加盟国の20-64歳人口の就業率を公表。クロアチアは60.5%(2014年、59.2%)となり、イタリアと並んでギリシャの同54.9%に次ぐ低い値となり、スペインの62%がそれに続いた。

主要経済指標

(2016年月次データ, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

輸出総額 (2月)	輸入総額 (2月)	貿易赤字 (2月)	工業生産高 (3月)	インフレ率 (3月)	失業率(登録制) (3月)
+5.9% (131億クーナ, 17億ユーロ)	+7.9% (214億クーナ, 28億ユーロ)	+11.3% (83億クーナ, 11億ユーロ)	+6.9% (2月:4.4%)	-1.7% (2月:-1.4%)	17.2% (2月:17.8%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。